

商業科の消長

島 本 正 則

設 置

昭和三十四年四月、商業科第一期生を募集

昭和四十七年四月入学、第十四期生をもって募集停止

商業科については、産業社会における急速な技術革新の波に対処し、技術をもった生徒を産業社会に送り出すことを目的として設置された。

そのための商業校舎の新設、特別教室の充実が図られ、教育面では、建学の精神を生かしつつ、高度な商業関係知識と教養を高める教育を施し、各種の技能習得を最終課題として掲げた。卒業生は、新しいタイプの職業人、有資格者として、直ぐに役立つ女性として、一応の目的は達成されたものと自負している。

しかしながら、社会の要請は普通科指向となり、商業科への入学生も減少、附属高校としての学園発展を考えて、昭和四十八年度から募集を停止している。

新設から停止まで十六カ年間という浅い歴史ではあるが、積極的な生徒会活動への参加、地域商店街への諸調査、統計資料の作成など、商業科ならではの実務実践教育が行われた。また、対外的にも、生徒会クラブ活動での全国的な活躍（珠算部、タイプ部など）、地域活動など特記すべきことも多くある。

その一つは、学園に高等学校を設置したことを記念し、地域に奉仕することを目的に開催した、学園主催、広島県

女子珠算競技大会（第一回大会、三十三年一月十五日、第二回より十一月二十三日勤労感謝の日）は、安佐地区はもちろん、大竹、呉、因島、尾道、福山地区からの参加があり、学園挙げての一大行事であった。

この行事も初期の目的を一応達したということで、昭和四十四年度、第十三回大会をもって中止。以後は、珠算連盟に引き継ぐことにより、例年、会場を提供し現在に至っている。

主な施設

商業実践室、文書室、簿記室、計算実務室、和文タイプ室、カナタイプ室、進路資料室

商業科専門教科目

科 目	1年	2年	3年
商 業 一 般	2		
商 事		2	
商 業 法 規			2
商 業 経 済		3	
税 法			2
商 品			2
商 業 簿 記	5	3	
工 業 簿 記			3
銀 行 簿 記			2
会 計			3
計 算 実 務	3	3	2
文 書 実 務		2	
和 文 タ イ プ	2	2	2
商 業 実 践			4

商業科卒業生

第一期生 三十七年三月卒

三八名

第二期生	三十八年三月卒	三二名	第九期生	四十五年三月卒	五四名
第三期生	三十九年三月卒	二〇名	第十期生	四十六年三月卒	四六名
第四期生	四十年三月卒	一〇五名	第十一期生	四十七年三月卒	五二名
第五期生	四十一年三月卒	一六五名	第十二期生	四十八年三月卒	三九名
第六期生	四十二年三月卒	一四二名	第十三期生	四十九年三月卒	三四名
第七期生	四十三年三月卒	一一〇名	第十四期生	五十年三月卒	四二名
第八期生	四十四年三月卒	五七名			

商業科目・担当教員

横山 勉、小山 威倫、秋岡 修、佐々木勝子、小川 敦士、木田 弘子、円仏 定夫、藤井 道子、
 久保田達二(故)、玉川 淳美、酒井 寛、中川 邦夫、阪口 耕造、山口 忠昭、島本 正則

(広島文教女子大学付属高等学校教諭)